

東地申第
06号「首都圏本部におけるワンマン運転の実施について」
に関する基本申し入れ団体交渉を行いました(その1)

《交渉前に》

※職場名は 2025 年 3 月 15 日以前の職場名で記載

(組)回答が事前施行出来なかった理由は？

(会)今後も事前施行の考えはなくなるわけではない。事前に関係個所と調整する事をご理解いただきたい。

(組)準備ができ次第、事前に示す考えに変わらない事は確認する。確認

1. 後方防護係員がいない中で、安全が担保される根拠を具体的に示すこと。

回答:列車防護係員を省略できる装置が整備されているとともに、他社線が隣接する箇所においては指令間において連絡体制が取れている。

(組)列車防護係員を省略できる装置は？

(会)EB 装置、TE 装置、防護無線の3点。

(組)他車線を列車防護するフローは？

(会)東京の指令室から会社線の指令室に連絡をする。

(組)ワンマンとなり列車防護をする係員が 1 人減るが安全性が下がらないのか。

(会)現状維持できると考えている。確認

(組)隣接線支障時、列車防護の手順に変更はあるか。

(会)現行と変わらない。確認

(組)運転士が意識不明になった時、他車線の列車防護の考えは？そこまで想定していないと、ワンマン運転は安全と言えないのではないのか。

(会)当社に限らず鉄道事業者して共通の課題。今後の課題として議論していく。

(組)他車線への列車防護については課題ありと認識しているでよいのか。

(会)今後の課題として認識している。確認

2. 異常時放送について考え方を具体的に示すこと。

回答:基本的に乗務員が対応する考えである。なお、必要な放送設備は整備している。

(組)車内放送を今後は運転士が担う中で、今まで車掌が積み重ねてきた放送スキルをどのように継承するのか？

(会)去年の4月から訓練を行っている。それ以外に運転指導、車掌指導でコミュニケーションを取って英語放送含めて伝えている。

(組)ワンマンでいきなり異常時放送は不安ではないか。ダイヤ乱れ、行き先変更などの放送の対応は？

(会)車内放送については基本的に、出来る駅で停車中に放送する。確認

(組)現在の訓練でエアセクション対応の放送訓練は実施しているのか？

(会)放送の訓練を実施しているとは聞いていない。

(組)異時時こそ放送が重要。お客さまに不安を与えないように放送スキルを訓練で身につけることが重要ではないか。今後の訓練で実施するか？

(会)実施する。サービスの観点で必要なもの。ワンマン開業したら更にレベルアップするための訓練をしていく。確認

(組)開業当時、運転士が異常放送の対応が出来ない可能性もあるのではないのか。まずは異常時の処置に専念するでよいのか。

(会)その通りだ。

(組)運転士が運転中に放送する会社としての考えは？

(会)放送をやりなさいと指導はしない。放送をしてはダメだと指導もしない。

(組)解明交渉のときの考え方と変わってないということでしょうか。

(会)変わっていない。確認

その2へ